

平成24年度 少子化対策関連予算のポイント 55億円 (平成23年度当初予算 57億円)

～ こどもを生み育てやすい環境づくりに向けて ～

●ライフステージに応じた総合的な少子化対策の推進

結婚

12,899千円

結婚を望む独身男女の
出会いのきっかけづくり
を応援

出会いのきっかけ応援
事業費

(16,244千円→12,899千円)

- ・県主催による交流会の開催
- ・市町村等が実施する出会いイベントへの助成

④ 婚活サポーター活動の促進



妊娠～出産期

382,246千円

県民だれもが安心して、妊娠・
出産できる環境づくり

不妊治療費助成事業費

(40,151千円→52,151千円)

・特定不妊治療への助成

周産期医療体制整備事業費

(45,446千円→96,110千円)

- ④ 新生児集中治療室の増床及び必要な機器を整備する医療機関への支援
- ④ N I C U 長期入院児等が在宅療養へ移行する際に支援を行う N I C U 入院児支援コーディネーターの配置
- ・産科医等の処遇を確保するため分娩手当を支給する医療機関等への支援 など

妊婦健康診査支援基金事業費

(155,001千円→151,780千円)

・妊婦健診9回分の公費負担

④ 母体管理支援事業費

(4,334千円→6,417千円)

・妊娠期から出産後までの訪問指導等、ハイリスク妊婦に対する支援体制の強化など

女性の健康づくり応援事業

(184千円→1,988千円)

- ④ 不妊専門相談センターの設置など



子育て期

4,458,777千円

子育てに孤立感や不安感を
持つ家庭への支援

地域子育て推進事業費

(12,723千円→10,922千円)

- ④ 子育てサークル等のネットワークづくり
- ④ 地域子育て支援センター職員等の研修の充実など



④ 子育て支援推進事業費補助金

(0千円→19,000千円)

- ・家庭訪問や出張相談の充実など、市町村等が地域の実情に応じて実施する子育て支援の取組への助成



多子(3子以降)世帯への支援

乳幼児医療費補助金

(436,216千円→439,584千円)

- ・第3子以降の就学前の幼児の医療費の原則無料化



多子世帯保育料軽減事業費
補助金

(97,559千円→103,459千円)

- ・第3子以降3歳未満児の保育料の無料化(軽減)

働きながら子育てを行う
家庭への支援

④ 保育サービス促進事業費

(600,944千円→749,819千円)

- ・延長保育や病児病後児保育、休日保育等への助成



④ 地域型保育・子育て支援
モデル事業費補助金

(0千円→10,050千円)

- ・人口減少地域で行う小規模・多機能の保育事業への助成

④ 放課後子どもプラン推進事業費

(399,968千円→416,132千円)

- ・学習支援者の配置等による放課後学びの場の充実など



次世代育成支援事業費

(13,203千円→8,580千円)

- ・次世代育成支援に取り組む企業の認証や仕事と家庭の両立の推進など



④ 子育て支援推進事業費補助金(再掲)

- ・市町村等が地域の実情に応じて実施する子育て支援の取組や、企業等が行う従業員の子育て支援等の取組への助成



広報 啓発

24,087千円

少子化対策県民運動推進事業費

- ④ 子育て応援キャンペーンの実施

(16,137千円→10,632千円)

- ・子育て応援フォーラムの開催

- ・子育て家庭応援の店の推進



結婚や子育てに希望の持てるあたたかな社会

子育て家庭等の経済的負担の軽減

(一部再掲) 3,263,546千円

不妊治療費助成事業費 (40,151千円→52,151千円)

妊婦健康診査支援基金事業

(155,001千円→151,780千円)

乳幼児医療費補助金 (436,216千円→439,584千円)

多子世帯保育料軽減事業費補助金

(97,559千円→103,459千円)

子どものための手当費

(1,519,324千円→1,785,423千円)

ひとり親家庭医療費助成事業費補助金

(271,626千円→267,167千円)

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業費 (540,091千円→462,866千円)